

令和5年

目黒区教育委員会

第44回定例会会議録

(令和5年12月26日開催)

第44回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和5年12月26日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 覚
	教育委員会委員	若井田正文
	教育委員会委員	松村 真理子

出席職員	教育次長	樫本達司
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	西原昌典
	学校運営課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	鈴木将大
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	斎藤洋介
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記		小見哲一
		矢吹翔太

(議事日程)

日程第1	報告事項	令和6年度組織改正(第一次)及び職員数内示について
日程第2	報告事項	今後実施する学校運営協議会の運営体制及び設置スケジュール(素案)について
日程第3	報告事項	令和5年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第4	報告事項	令和5年度学級閉鎖等の状況(12月25日現在)

資料配付

- ・令和6年2月行事予定表
- ・目黒南中学校開設準備NEWS(第2号)
- ・目黒西中学校開設準備NEWS(第2号)
- ・目黒区立図書館におけるWi-Fiの環境整備について(案)(修正)

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和5年第44回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、若井田委員です。
- それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和6年度組織改正(第一次)及び職員数内示について(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
- 特にないようですので、この報告を受けました。
- 次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 今後実施する学校運営協議会の運営体制及び設置スケジュール(素案)について(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
- 委員 資料別紙「学校運営協議会の運営体制」に記載の(3)「協議会の役割」のうち、(ア)「学校運営の基本的な方針の承認」に関する事項として、「学校経営方針に関すること」があります。学校運営方針と学校経営方針、つまり、学校運営と学校経営の違いについて、教育委員会として整理を行う必要があると思いたすがいかがでしょうか。
- また、(イ)「教職員の任用に関する意見の申出」の中にある、「対象学校における転任を求める意見」という表現が分かりづらいた感じました。文章の再検討をしてみてもどうかと思いたました。
- 教育政策課長 1点目について、今後の協議会の中で学校経営方針に関することを承認事項とした理由は、現行規程では協議会の承認事項は学校経営に関することを含め複数あり、協議会委員に学校経営に関して分かりやすく馴染みがある内容として、学校が毎年度定める学校経営方針を承認事項とすることが適当であると検討会や学校教育プラン推進委員会で協議し、この方向性を示し

たものです。

ただし、委員ご指摘のとおり、学校運営と学校経営の言葉の整理は必要だと思しますので、令和7年度からの先行実施校での取組の検証の中で分かりやすい表現など工夫してまいります。

2点目の教員の任用に関する意見の申出ですが、法改正に伴う国の認識も踏まえ、個人を特定して当該学校の教職員を転任させてほしいなどの意見ではなく、学校運営に資する建設的な意見の申出が行われるよう見直すものです。

表記の仕方については、この内容は法律で教育委員会規則で定めることになっていきますので、規則に規定する際や区民等へ説明する場合には、趣旨が分かりやすく伝わるよう工夫してまいります。

○委員 私は、一般的に学校経営方針に基づいて学校運営を行うものと捉えています。つまり、学校経営方針は様々な理念を含む大きな概念であり、これに基づいて具体的な学校運営を行っていくものです。法律では、学校運営に関して基本的な方針を定めるとして、「学校運営」という言葉を使用しています。「学校経営」という言葉を使うに当たっては、これらの共通理解の上で、定めていく必要があるかと思えます。

また、「対象学校における転任」の表記ですが、「おける」という言葉の問題だと思しますので、検討してください。

○教育長 委員からの指摘についてですが、今後の学校運営協議会設置検討会の場で、このような指摘があったということで検討と確認をして下さい。

○委員 協議会委員の選考について、多様性を取り入れることが既に当然となっているため、現行の「男女比を考慮したうえで」という文言は不要との意見があったことから削除する、という説明がありました。

現行のモデル校では、協議会委員の男女比は半々になっているのでしょうか。様々な役職において男女の比率で男性が上回ることが多いと思うのですが、そのような点が解消されるという見通しがあるのでしょうか。

○教育政策課長 委員の選定に当たっては、学校として男女比のバランスを考慮することが前提ですが、現在の社会状況等を踏まえると改めて表記は必要ないという検討会等での議論に基づき、表記自体は削除しました。

一方で、委員を選任するうえで、配慮すべきことであることを学校・園側に適切に伝えることが重要ですので、教育委員会としても表記は行いませんが、過去の経緯も踏まえて男女バランスを考慮した委員構成になるよう、学校・園側に機を捉えて周知してまいります。

○委員 私としては、こういった趣旨の注意的な文言は残しておくべきだと思いますので、ご検討いただければと思います。

○教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第3を議題とします。

(日程第3 令和5年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○統括指導主事 (資料により説明)

○教育長 本日は卒業式祝辞の主題と題材に関する協議の2回目となります。ただいま統括指導主事から説明がありましたとおり、前回、委員の皆様からご意見いただいた内容を受けまして、小学校の題材として「対話型生成AI技術の開発」と「ジョン万次郎」、中学校の題材として「国産対話型生成AI技術の開発」と「目黒の教育150周年」に絞って、事務局から提案がありました。本日は、小学校・中学校それぞれの題材を決定したいと思います。
それでは、前回と同様、順番に各委員の皆様からご意見を伺うという形でよろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それではそのような形で進めていきます。

○委員 私は小・中ともに、生成AI技術の開発が題材として良いと思いました。

将来、児童・生徒たちが大人になる頃、AI技術の進歩によりAIが意思を持つようになると、人間は何のために行動をしているのか疑問を持ってしまうのではないかと思います。

そういったことに対して、「人間が主人公となって」ということを十分に伝えることが大事なことはないかと思っています。

AIに使われるのではなく、人間が主人公であり、AIを上手に使って脅威とならないようにするということが大事なのでは

ないかと思しますので、生成A I 技術の開発を祝辞の題材とすることが良いと思いました。

○委員

私も、小・中学校ともに生成A I 技術の開発が良いと思います。人間が主体性を持ってA I を使っていくということをしっかりと述べていただきたいと思います。つまり、対話型生成A I を使用する上での危険性など、課題があることについても十分に述べていただきたいと思います。

中学校では、題材の説明に「国産対話型生成A I 技術が開発されました」と記載されていますが、まだ研究途中という状況かと思えます。そのため、「開発を推進しています」といった、現在進行形で述べたほうが良いと思います。

また、題材を取り上げることによる卒業生への期待として、資料では、小学校では「感性」と「好奇心」という言葉を使っていますが、中学校では「感性を生かして新たな活用方法を見出したり」と記載されています。感性も必要ですが、やはり知性が大切です。知性を用いてA I をコントロールしていかないと危険な面が出てくると思うので、「感性」について述べるのであれば、「知性」についても述べていただきたいと思えます。「知力」でも構いません。

○委員

私は、小学校は「ジョン万次郎（4年ぶりの演劇鑑賞教室）」、中学校は「目黒の教育150周年」がふさわしいと思えます。

生成A I 技術の開発については、確かに注目されている話題であり、教育上取り上げるに値するテーマだと思います。しかし、A I が便利ですばらしい技術だと言う一方で、「A I の回答は参考の1つであり、誤っている場合もある」と言うなど、小学生にとって理解しにくい面があり、中学生にとっても混乱を招く可能性があると思いました。むしろ、目黒区教育委員会からの祝辞なので、目黒区のことを中心にしたほうが良いと思ひ、2つの題材を選びました。

ジョン万次郎については、児童が演劇鑑賞教室で既に鑑賞しており話の筋も把握しているため、分かりやすいのではないかと思ひました。また、この題材については、資料のとおりジョン万次郎について述べていけば、心に響くような祝辞になるのではないかと思ひます。

この題材による卒業生への期待としては、ジョン万次郎は遭難という命にかかわるような困難な出来事に遭遇しても、希望

を捨てず、粘り強く生き抜いたということを強調し、「今後様々な困難があっても、くじけずに頑張ってください」という形で記述することが良いのではないかと思います。

また、中学校の「目黒の教育150周年」については、学校教育制度があることがどれだけ素晴らしいことなのか、具体的には、無償で義務教育を受けられることがとても貴重であるということをもう少し付け加えていただきたいと思いました。

また、新型コロナウイルス感染症や新型インフルエンザのことにもふれていますが、去年から今年にかけて、ウクライナの戦争や中東の紛争などがあり、学校どころではなく、亡くなるような子どもも多くいる中で、学校教育を受けられることの素晴らしさを強調していただきたいと思いました。

また、卒業生への期待としては、そういった義務教育を終えた卒業生たちには、今後も自ら学びを続けてほしいということも記載していただきたいと思いました。

○委員

私は、小学校は「ジョン万次郎（4年ぶりの演劇鑑賞教室）」、中学校は「目黒の教育150周年」です。

めぐろパーシモンホールの演劇鑑賞教室では、鑑賞している児童も引き込まれているような印象を受けたため、ジョン万次郎が良いのではないかと思います。

中学校の「目黒の教育150周年」については、卒業式に関しては、このような少し温かみのあるような題材のほうが良いのではないかと思ったことが理由です。生成AIは未来の期待と不安が入り混じっている話題だと感じました。

ただし、目黒の教育150周年のエピソードを読むと、大人がとても頑張って支えてきたという印象が強いため、もう少し柔らかい文章が良いのではないかと思います。

○教育長

各委員から順番にご意見をいただきましたが、意見が分かれました。そのため、私のほうで、ただいまいただいたご意見を踏まえて、小学校・中学校それぞれ1つの題材に絞りたいと思います。

まず、小・中の題材がともに生成AIとすることは避けたいと思います。

私は、小学校は「ジョン万次郎（4年ぶりの演劇鑑賞教室）」を推します。4年ぶりの演劇鑑賞教室という点もありますが、劇に含まれている要素が「21世紀をたくましく生きる人間性豊

かなめぐろの子ども」という目指す子ども像につながるものであり、子どもたちが将来に向けて身につけて欲しい姿勢や資質といったものが全て語られていると思いましたが、そのことを改めて子どもたちに分かりやすく伝えることが出来る題材だと思います。

中学校は「国産対話型生成A I 技術の開発」を推します。今年ほどA I のことが取り上げられた年はなく、「A I 元年」ともいえる状況かと思えます。確かに、肯定的に取り上げることも否定的に取り上げることも、極端な論じ方は祝辞としてふさわしくはないという側面はありますが、このA I の問題は、技術と人間の調和という普遍的なテーマから、様々な切り口で語ることができるのではないかと思います。

以上の点から、小学校は「ジョン万次郎（4年ぶりの演劇鑑賞教室）」、中学校は「国産対話型生成A I 技術の開発」を題材とすることでよろしいでしょうか。

（各委員同意）

○教育長 それでは、1月16日の本委員会において、事務局からそれぞれの題材についての具体的な文案が示される予定ですので、それについてご意見をいただくこととします。

○委員 題材の選択自体について異論はありませんが、A I の題材例については、小学校は「対話型」、中学校は「国産対話型」としたのは、小・中学校で少し差をつけるという趣旨だったと思います。もし中学校の題材のみがA I ということであれば、そこは「国産」にこだわらなくとも良いのではないかと思います。

○教育長 確かに委員ご指摘のとおりですので、ご意見を踏まえ、小・中学校それぞれに挙げた要素もうまく整理しながら、具体的な文案としてご提示したいと思えます。

次に、日程第4を議題とします。

（日程第4 令和5年度学級閉鎖等の状況（12月25日現在）（報告事項））

○学校運営課長 （資料により説明）

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

資料配付

- ・令和6年2月行事予定表
- ・目黒南中学校開設準備NEWS（第2号）
- ・目黒西中学校開設準備NEWS（第2号）
- ・目黒区立図書館におけるWi-Fiの環境整備について（案）（修正）

- 教育長 事務局から何かありますか。
- 学校施設計画課長（口頭により説明）
- 教育長 その他何かありますか。
- 教育次長 人事に関する案件について情報提供をさせていただきたいと思えます。
- 教育長 それでは、議事の都合により暫時休憩といたします。

（午前10時36分から午前10時47分まで 休憩）

- 教育長 休憩前に引き続き会議を再開します。
その他なにかありますか。
特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

（午前10時48分閉会）